
山武市の行政評価の取組について

平成31年2月13日



山武市
S A M M U



山武市マスコットキャラクター
SUN△シくん



平成18年3月27日に成東町、山武町、蓮沼村、松尾町の3町1村が合併し山武市が誕生。

千葉市や成田国際空港まで約10～30km、都心まで約50～70kmの距離にあり、地勢は大別して九十九里海岸地帯とその後背地としての沖積平野及び丘陵地帯で構成。

○面積： 146.77 km²

○人口： 52,231人

(H27.10.1現在、国勢調査人口)

【参考】合併時：60,143人

(H18.4.1住民基本台帳人口)

(1) 導入背景

3町1村合併に伴い、**『新市』として共通の考え方となるマネジメントの仕組みの構築の必要性**

(2) 目的

山武市では、下記を目的に自治体経営革新のツールである行政評価システムを平成19年度から試行し、平成21年度から本格実施しています。

また、「行政評価」の結果を活用した「施策枠予算編成」の取組を、平成21年度予算編成から本格導入しています。

- ① 総合計画に基づいた成果重視の事業実施を行う
- ② 行政資源の効率的配分とその効率的活用を可能とする基準づくり
- ③ 職員の意識改革を促進し、コスト意識、マネジメント意識を醸成する
- ④ 市民への説明責任を果たす
- ⑤ 総合計画の策定とそれに伴う進捗状況(達成度)を評価し、次の計画に活かす
- ⑥ 不要な事業、無駄な事業を“削減・縮小・廃止”することを狙う

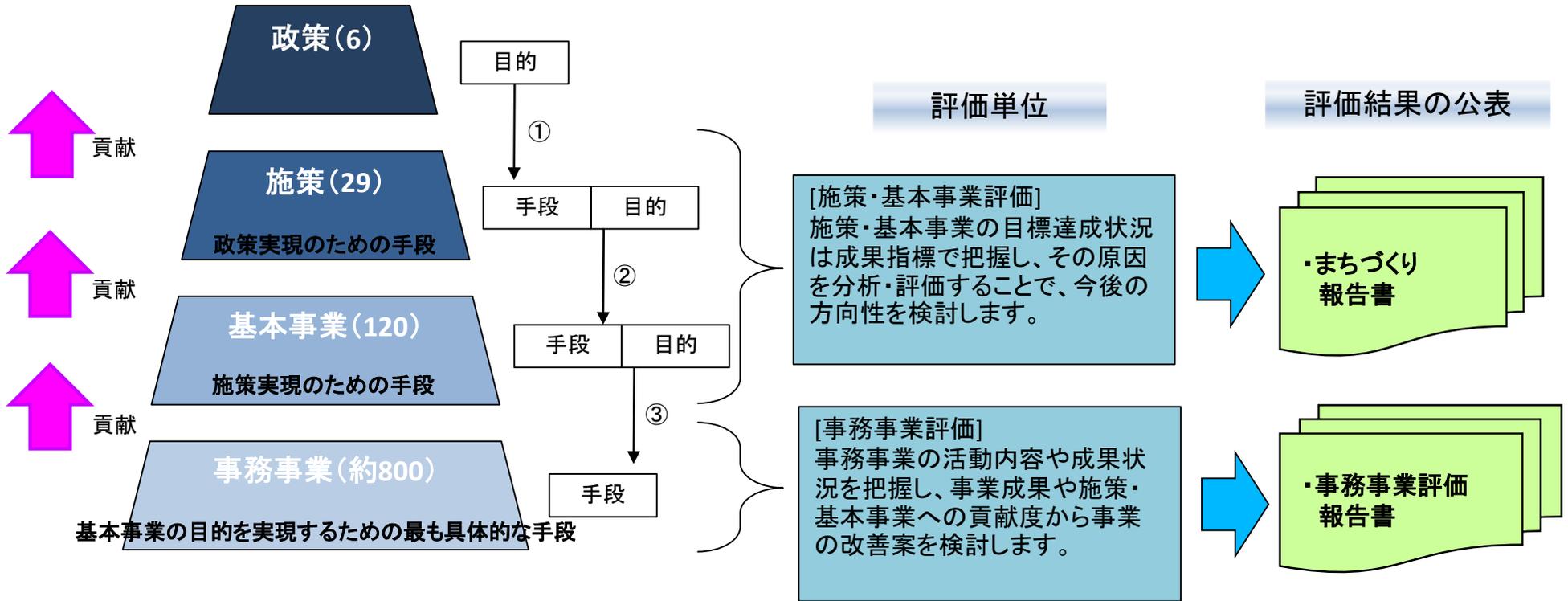
(3) 行政評価システムの適用範囲

行政評価システムを、マネジメントを行うための基盤的な考え方として定着させるために、行政改革の視点だけではなく、『政策管理』、『財政管理』の側面も適用範囲としています。

- ① 総合計画の進行管理
- ② 資源配分(施策枠予算に基づく予算編成、事業評価結果による予算反映)
- ③ 業務改善(成果指標や活動指標に基づく改善)

総合計画の施策体系と評価単位

まちづくりで取り組む方向性



- ① 施策は、上位の政策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の基本事業の目的となっています。
- ② 基本事業は、上位の施策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の事務事業の目的となっています。
- ③ 事務事業は、上位の基本事業の目的を達成するための最も具体的な手段となっています。

1. 毎年4月に進め方を組織確認(行政評価自体のPDS)

◆ 4月に「山武市行政評価システムの導入推進の考え方」を更新し、庁議承認

- 毎年、庁議メンバーが進め方を承認し、全庁マネジメントシステムとして機能させる
- 上記庁議において、当年度の進め方変更点を説明し、承認(行政評価自体のPDS)

◆ 4月に「マネジメントの進め方説明会」で、職員周知と庁内説明責任

- 「行政評価」「予算編成」「人事評価」「行革」における当年度の進め方を同時開催で説明
- 昨年度に実施した施策から事務事業までの評価結果概要を報告
- 行政経営(行政評価、人事評価、予算)に関する成果指標推移を報告(行政評価自体のPDS)

全庁マネジメントシステム運用のために・・・

事務局体制・・・行政評価推進事務局(企画政策課、財政課、総務課(人事))

2. 2つの評価タイミングの明確化でPDSサイクル推進へ

スプリングレビュー（前年度の実績評価）

- ① 施策・基本事業評価
- ② 事務事業評価

4～6月

施策別成果動向の
市長報告(部長)を実施

各施策に反映

サマーレビュー（評価に基づく次年度計画策定）

- ① 実施計画事業の事前評価
- ② 新規・大型・突発・大幅増減事業の事前評価

7～9月

3. 施策枠予算編成の導入(予算の重点化)

- 施策ごとに一般財源枠を設定し、メリハリをつけた資源配分の実施
- 職員のコスト意識、マネジメント意識の醸成

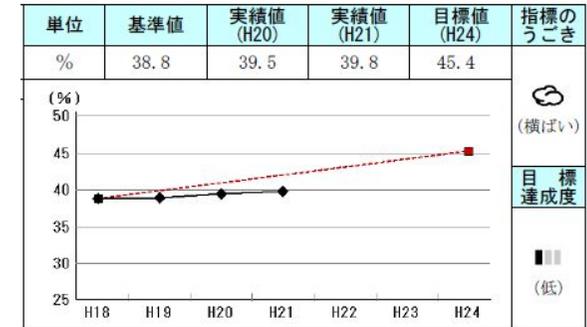
※ 第2次総合計画(H31～)では、より重点化のため、『基本事業』で重点枠を設定予定

4. 市民・議会への成果指標による説明責任の推進

◆ **まちづくり報告書（総合計画 成果指標進捗書）の発行**

総合計画（施策・基本事業評価）の成果進捗状況を、
「山武市の業績報告書」として、市民に分かりやすいかたちで毎年秋に公開

- ※1 担当課による成果指標値把握と成果状況原因分析
- ※2 事務局による記述内容ヒアリングの実施
（総合計画上の課題の確認と説明責任向上）
- ※3 まちづくり報告書は、成果指標値推移をグラフで明示



◆ **事務事業成果指標に基づく各種計画書・報告書の発行**

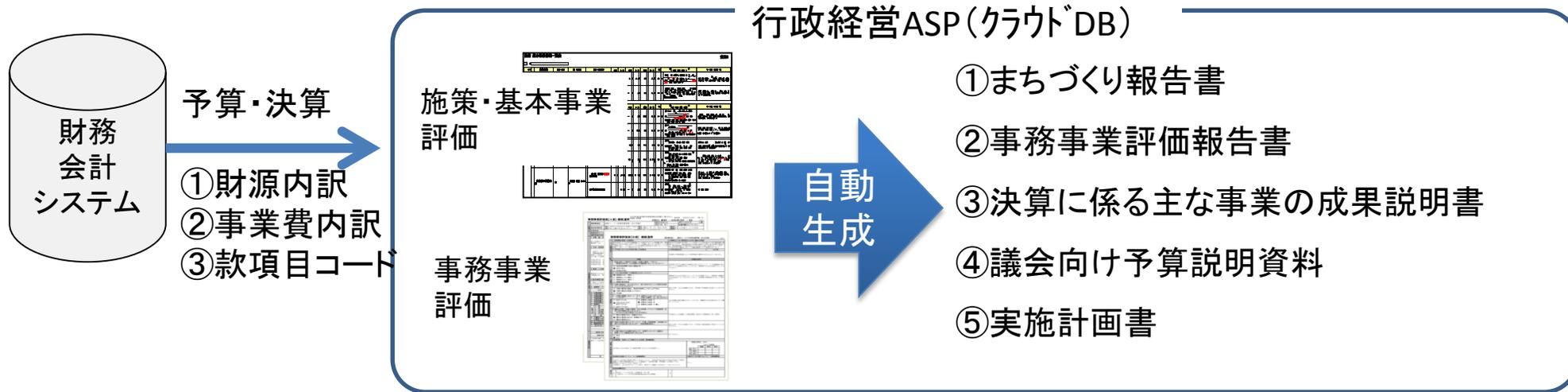
「**実施計画書**」……………①施策体系毎に構成 ②成果指標計画値を公開

「**主な事業の成果説明書**」… ①款項目毎に構成 ②成果指標実績値を公開

「**事務事業評価報告書**」……①施策体系毎に構成 ②成果指標実績値を公開

5. 経営情報のデータ統合化による各課の事務負担軽減

「行政経営ASP(クラウド情報システム)」を導入し、財務会計システムとのデータ連携により、**下記の行政資料を自動生成し、職員の事務負担を軽減**



6. まちづくりアンケートによる成果指標の取得(毎年)

- 16歳以上の市民3,000人を無作為抽出
- アンケートによる客観的な評価を実施

ポイント

- 予算、決算、目標管理等の通常マネジメントで各課に活用されるような仕組みにすること
(行政評価のためにやらない)
また、
活用しやすくすること(帳票の連携・自動生成等)
- 上記の通常マネジメントでの活用のために、企画、財政、人事部門が連携して取り組むこと

課題

- 成果指標を意識した事務の執行への理解は進んでいるが、下記が今後の課題
 - ①成果指標値向上への課題解決力
 - ②課題解決への職員能力開発と動機づけ
 - ③限られた資源配分への市民の理解促進

ご清聴ありがとうございました。

山武市
総務部企画政策課
政策・シティセールス推進係

電話：0475(80)1132

